

平成27年度 室蘭市教育研究所 研修講座より

「英語絵本の読み聞かせ」

平成28年1月12日(火)

室蘭市教育研究所 外国語活動グループ

授業に絵本を

1～6年生までに使えるいい道具になる

使い方

☆1冊をめいっぱい使う。(1～4年生)

{ ・色・食べ物・動物・挨拶・ものの言い方・
・数字・曜日・形 など

様々な単元を構成できる。

☆多くの本を使う。(5～6年生)

単元ごとに選んだり、絵本タイムを設けたりすると授業に取り込みやすい。

見せ方

- ☆近くに集めて読む。
- ☆実物投影機でTV画面に映して読む。
- ☆本とコピーの両方を見せて読む。

児童の参加を増やす方法

- ☆1回目～始 め・・・教師が読む
 終わり・・・教師と児童(単語)
- 2回目～始 め・・・教師と児童(単語)
 終わり・・・児童(フレーズ)
- ☆「どうなると思う?」「わあ、すごいねえ」「なんて言うと思う?」
「一緒に言ってみよう」などと会話しながら読む。

児童にとって、なぜよいか

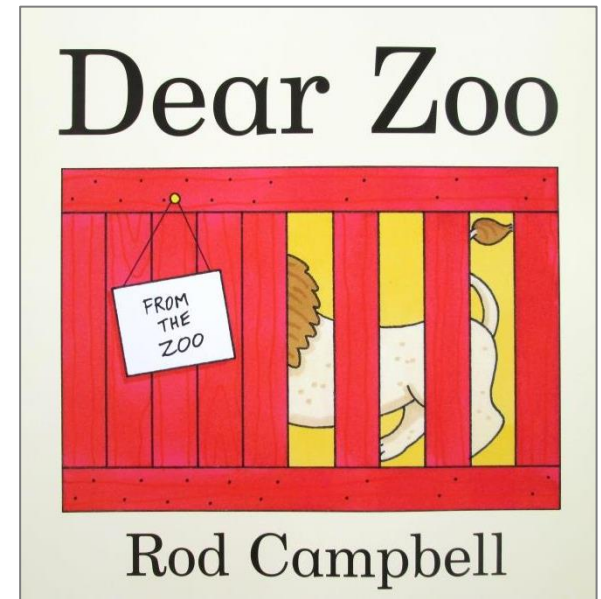
1. 楽しく・考えながら・想像しながら、英語のインプットができる。
2. 絵本の絵が、ストーリーや状況の理解を助けてくれる。
3. 教室の中で、リアルな時と場を感じることができる。
4. 異なる文化や、ものの見方に触れることができる。
5. 絵本を開けば、いつでもその世界に浸ることができる。

指導者にとって、なぜよいか

1. 英語のインプットを、より充実させることができる。
2. 指導者と児童の、会話の必然性が生まれる。
3. 語彙や文構造を、文脈の中で提示することができる。
4. 活動のヒントを得たり、アイデアが生まれたりする。
5. 英語活動のペースに変化をつけることができる。

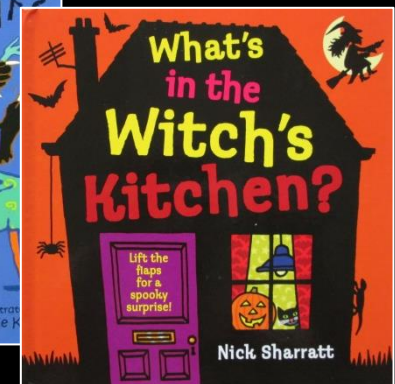
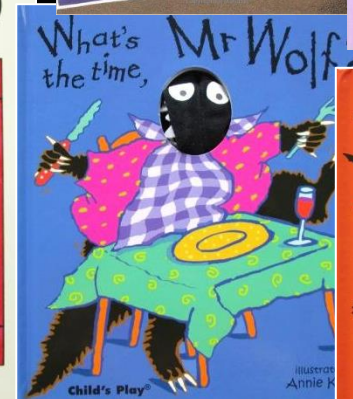
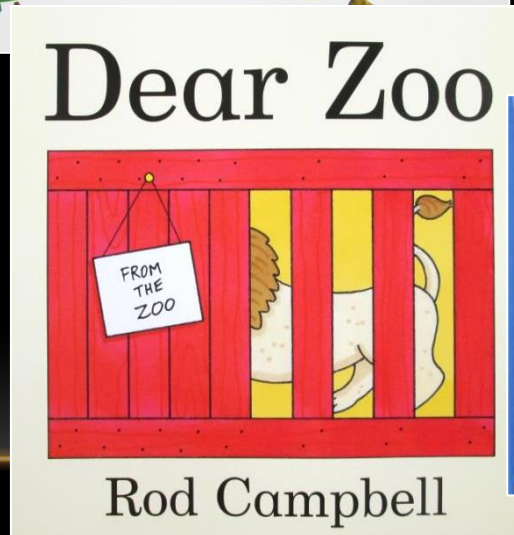
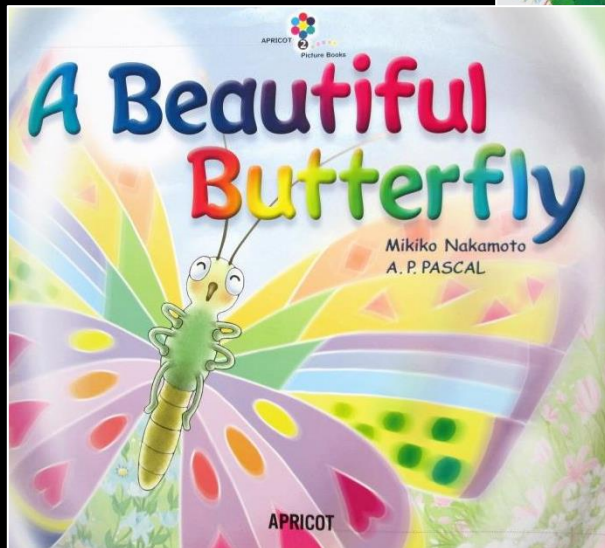
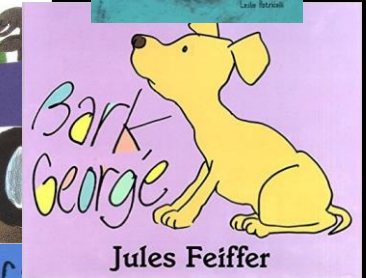
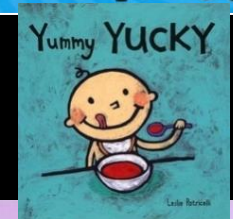
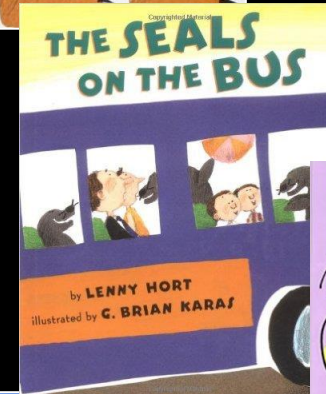
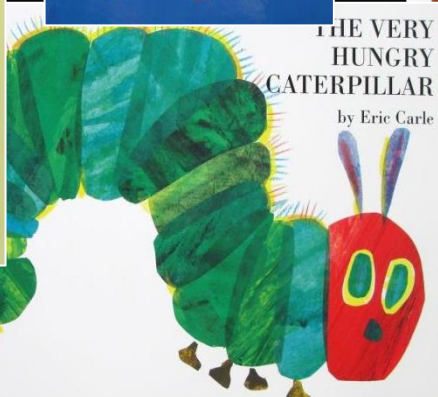
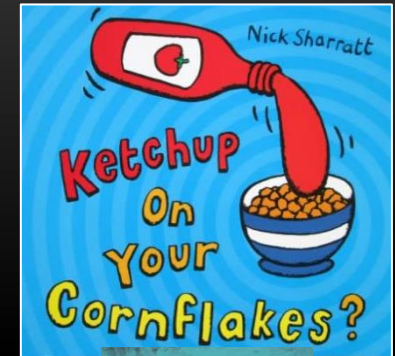
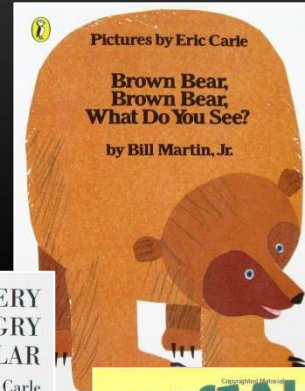
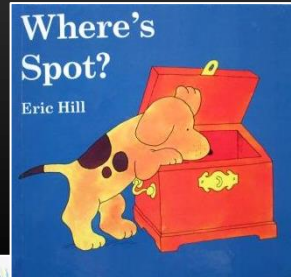
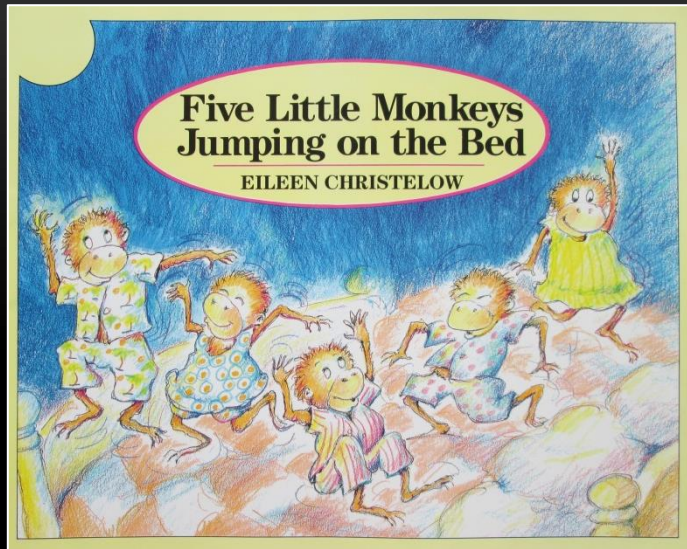
選択（どんな絵本がよいか）

1. くり返しがある。
2. リズム感がある。
3. ストーリーが簡潔である。
4. 絵が鮮明で、はっきりしている。
5. メッセージ性がある。（＊高学年）



読み聞かせ方（どんなふうに読むか）

1. 指導者自身の言葉で。
2. 表情豊かに、動作やジェスチャーをつけて。
3. キー・センテンスを印象的に。
4. 質問を挟みながら、絵本の世界に引き込んで。
5. 最小限の日本語で、児童のつぶやきと流れを大切に。



参考図書・資料等

1. 小学校外国語活動研修ガイドブック(文部科学省)
2. これのできる 小学校英語 必修化時代の授業4
「読み聞かせ」の指導テキスト
2007(平成19)年 景浦攻編集・直山木綿子著【明治図書】
3. 小学校英語活動での絵本読み聞かせにおける教師の相互交渉スキルに関する事例研究
2009(平成21)年 萬谷隆一(北海道教育大学札幌校)
4. 2015(平成27)年 LEEP(英語教育推進リーダー中央研修)資料